



かけはし通信



藤枝市こども課

大洲こども園公開保育

6月26日に藤枝市私立幼稚園・認定こども園協会主催の南ブロック研修全体会・公開

保育が行われました。本年度も、近隣小中学校の先生方が参加されました。全体会では、研修報告の中で大洲こども園で大切にしている「心の土台づくり」についてお聴きしました。当日の公開保育に向けて、先生方がこどもと一緒に楽しんで、準備されてきた様子もわかりました。

その後の公開保育では、こどもたちが、生き生きと夢中になって遊び、おもいをもって活動する様子を参観することができました。



(こども園での)活動の中心は個です。一人一人にストーリーがあり、「遊び」に夢中になっていました。一人で活動に没頭する子あり、数人で話をしながら活動する子あり、途中経過を先生に報告する子ありと、さまざまな表れがありました。また、開放された自由な雰囲気も感じられました。保育教諭2名と補助2名の先生方の表情も豊かでした。

配布資料を拝見すると、本時に至るまでにさまざまな経験や遊びの積み重ねが展開されてきたことがよく分かり、本時の生き生きとした姿につながっていると納得しました。

園では、「遊び」(名詞)がよく使われます(「どんな『遊び』に夢中か」「『遊び』がどうやって広がっていくか」)。「遊び」は、好きが広がるもの、自分の世界をつくるもの、心が動くものなので、「遊び」を用いて語り合うそうです。「遊び」を通して学んでいるのですね。

(小学校校長「校長だより」より抜粋)

大洲地区小中一貫教育の最上位目標は児童生徒の「主体性を育てる」ことです。ゆくゆくは15年間の一体化教育で育てる「幼保こ小中一貫教育」につなげていきたいと夢見ています。その意味で、6月の公開保育参観は大変印象深いものでした。

どの年代の園児にも五感を使ってダイナミックに遊べる環境が用意されており、多様な選択肢の中から園児が自己決定をし、意思をもって「もの・こと」と関わっていました。各年代の園児の「主体性の育成」に資する効果的な保育が展開されていました。大洲地区の一体化教育の強い可能性を感じました。

(中学校校長)

今回、大洲こども園の皆様のおかげで、縦のつながりが深まりました。小中学校の校長先生が自ら園に出向き、参観をしてくださったことで、園への理解が進み、幼児期の学びの芽を小中学校の学びにつないでいくことができますね。

